



青き楓

島高だより
平成29年11月号
(通巻第140号)
長崎県立島原高等学校
編集：研修広報部

研修広報部

校長室から

島高青楓塾

校長 渡邊 孝経

他校にはない講演会、それがこの島高青楓塾です。本校の校章は『楓』であり、生徒達のことをまだ若々しいことから、『青き楓』と言っています。この「青き楓たち」こと生徒諸君は3年間、本校で文武両道のもと、心身を鍛え、学問を学び、たくましく成長して、社会や大学に雄飛していきます。その時、本校で学んだ者として、志を高く持つきっかけになるようお願いを込めて、この『塾』が平成15年に発足されました。内容としては、本校の先輩を中心に、それ以外の方も含めて、現在、社会の第一線で活躍されている方々に講師をお願いし、講演・授業・演奏・実演・・・等をしていただくもので、生徒たちに感動と刺激を与えていただき、人間的成長と進路実現に役立てるために、「先輩に学ぶ」という機会をつくる主旨のものです。企画については校内の委員会で計画・運営を行います、委員には生徒代表も入っています。

本年度の講師は本校第31回卒の石橋賢一氏をお願いし、「マーケティングとブランディング」～地方の事業者支援の現場から～という演題で開催しました。内容は石橋氏が手掛けたテレビCMの紹介や渋谷ヒカリエの開発について、岩手県・島根県の若手事業者の商品開発・販路開拓支援等でした。生徒達との面談の中で、将来島原を活性化するために大学で学ぶ、という意見もありましたが、生徒達は想像以上に興味をもって聞いていたというのが私の感想です。

また、その後の1年生の「地域学」についてのアドバイスを石橋氏から今現在もいただいているところです。そしてその「地域学」の一環として、島原エリアの魅力をPRするCMを12月に作成することになっています。プロの目からみた魅力PRの視点をどう生徒たちが生かすことができるのか、今からワクワクしています。先にも述べましたが「先輩に学ぶ」ということは、講演の中で先輩の生き方・考え方を学び視野を拡大し、進路意識を向上させるということ。さらに、今回のように学びの動機づけを行いその後も関わっていただくということだと思います。本当に素晴らしい『塾』であると思います。

12月の主な行事予定

1日(金) 期末考査(2年) (～5日 1年)	16日(土) 県下一斉実力テスト(1・2年) 3年センター試験プレテスト(～17日)
2日(土) 土曜講座(3年) GTEC(2年)	22日(金) 2学期終業式・大掃除
4日(月) 3年三者面談(～13日)	23日(土) 冬季補習(～27日) ※早朝補習なし
5日(火) 2年修学旅行(～8日)	28日(木) 3年年末センタープレテスト(～29日)
9日(土) 土曜講座(1・3年) 1年小論文模試	31日(日) 閉館
11日(月) 歳末助け合い募金(～15日 校内) 歳末助け合い募金(～12日 街頭) ※ウィルビー、エレナ(北門)	※3年生: 1/4(木)・5(金) 年始プレテスト 1/6(土)・7(日) 冬季補習 1・2年生: 1/5(金)・6(土) 冬季補習 1月9日(火) 3学期始業式

研究指定中間報告会

「次代を担う高校生の資質・能力を育成する指導改善プロジェクト」

本年度、本校は県教育委員会から標記研究指定を受け、授業改善や小論文指導、地域学、ルーブリックを用いた評価法などの研究を行っています。11月17日(金)にその中間報告会を実施しました。当日は県内の学校からたくさんの先生方に参加していただきました。

5校時に「論理コミュニケーション」の授業公開、6校時に5教科のアクティブラーニング(AL)型授業の公開、その後、研究概要説明を行いました。最後に熊本大学の川越明日香先生に「アクティブラーニング型授業の組織的推進と評価のあり方」という演題で講演をしていただき、報告会を締めくくりました。



アクティブラーニング型授業

【参加者感想より】

- ・素直な生徒たちが先生方の新たな取り組みを受けとめ、懸命に取り組む姿勢が素晴らしかったです。
 - ・どの先生方もグループワークでのアクティブラーニングを実施されており大変勉強になりました。
 - ・「論コミ」の授業はICT活用の遠隔授業で大変興味深かった。
 - ・「ルーブリック」による評価について初めてお話をうかがいました。
- アクティブラーニング型授業：ALの意義、具体的授業改善方法など、とても勉強になりました。

■Fashion Show 2017 Original T-shirt

美術Iの授業で、美術選択の生徒たちが各自でデザインしたオリジナルTシャツを着て、ファッションショーとコンセプト発表を行いました。ここでは、司会進行や計時、パワーポイントの操作やBGM等を全て生徒が担当し、各クラス特色ある授業を生徒自身でつくりあげました。



島高青楓塾

本校の卒業生で、社会の第一線で活躍されている先輩方を講師に招く講演会「島高青楓塾」が10月30日(月)に行われました。

教務部

◇講師紹介

石橋 賢一 氏 (本校第31回生)
デナリマーケットデザイン プロデューサー
(元・株式会社東急エージェンシー プロジェクト推進局長)

◇演題 「マーケティングと、ブランディング～地方の事業者支援の現場から～」

◇生徒感想より

- ・広告代理店の仕事の幅は広く、こんなにあると思っていなかったの、まだまだ自分が知らない仕事がたくさんあるのだと思った。
- ・広告にできること、広告を楽しむこと、マーケティングを活用することの重要性、利用するしくみを学んでいくことを改めて理解することができ、とても意味のある良い経験ができました。
- ・自分が将来どのようなことをやりたいのか、そのためにはどのようなことを大学で勉強しなければならないか、またその大学に行くためには今何をしなければいけないのかという、自分が疑問に思っていたことを少し解消することができました。
- ・情報を受けとる私たちが、その映像が本当に伝えたいことは何なのかをしっかりと考えながら見る必要があると思いました。



◆主な部活動実績等◆

剣道部

平成29年度長崎県高等学校新人体育大会
 男子 個人 1位 黒川 雄大 (九州大会出場)
 2位 若杉 一真 (九州大会出場)
 女子 団体 2位 (九州大会出場)
 個人 2位 松田美結女 (九州大会出場)
 3位 山口菜々実 (九州大会出場)
 5位 岩永 遥佳 (九州大会出場)

平成29年度長崎県高等学校中地区新人体育大会

男子 団体 2位
 個人 1位 黒川 雄大
 2位 若杉 一真
 3位 前田 聖直
 女子 団体 1位
 個人 1位 松田 美結女
 2位 岩永 遥佳
 3位 植木 美和



弓道部

平成29年度長崎県高等学校新人体育大会
 女子 個人 2位 楠田 みゆ (九州大会出場)

平成29年度長崎県高等学校中地区新人体育大会
 女子 団体 3位

体操部

平成29年度長崎県高等学校新人体育大会体操競技
 男子団体 3位
 女子団体 3位

ソフトテニス部

平成29年度長崎県高等学校新人体育大会
 男子個人 3位 山外・浦田ペア
 (九州大会出場)

平成29年度長崎県高等学校中地区新人体育大会
 男子個人 2位 山外・浦田ペア

陸上部

JOCジュニアオリンピックカップ

第11回U18日本陸上競技選手権大会

男子100m 8位 池田 成諒

平成29年度長崎県高等学校新人体育大会

男子100m 1位 池田 成諒
 女子棒高跳 2位 中田 有香
 男子4×100m 2位
 長橋遼・池田成諒・菅野陽太・吉木郁人
 男子4×400m 2位
 吉木郁人・池田成諒・菅野陽太・森川麗功

平成29年度長崎県高等学校中地区新人体育大会

男子100m 1位 池田成諒 3位 菅野陽太
 男子4×100m 2位
 吉木郁人・森川麗功・菅野陽太・池田成諒
 男子4×400m 2位
 吉木郁人・菅野陽太・池田成諒・森川麗功

平成29年度(第69回)

長崎県高等学校総合体育大会 駅伝競走大会
 男子 6位
 1区 近藤 亮太 区間2位
 2区 土手野 圭 区間3位
 女子 13位



乳幼児ふれあい体験☆

家庭科主任
松尾 恭子



1年生家庭科の「乳幼児ふれあい・妊婦体験活動」が全クラス無事に終了しました。全6回の活動に、195名の乳幼児親子が参加してくださいました。また、妊婦体験では、1年生だけでなく、2・3年生、卒業生のお母さんたちがボランティアでお手伝いをしてくださいました。ありがとうございました。

【生徒感想より】

- ★赤ちゃんとふれあったことが全くなかったのが、嫌がらないか少し不安に思っていた。お母さんに丁寧に教えてもらったので、オムツを替えたり、ズボンをはかせたり、ちゃんとお世話することができた。赤ちゃんを初めてだっこと少し緊張したけど、初めての体験ばかりでとても楽しかった。手を握ってくれた時は、とても嬉しくて本当にかわいと感じた。不安もなくなってもっと遊びたいと思った。心が温かく、穏やかな気持ちになった。(男子)
- ★絵本の読み聞かせの練習をする時から楽しみだったが、きちんと関われるか少し不安もあった。何をしてもお母さんは子どものことをしっかりと見ていて、眠たいとかお腹がすいたとかすぐにわかってすごいと思った。赤ちゃんに接していると自分も自然に笑顔になっていて、赤ちゃんにはすごいパワーがあるんだと感じた。(女子)
- ★妊婦体験で初めて女性の苦勞を少しだけ感じることができた。あんなに重いものを抱えて10ヶ月も生活していたのかと思うと、自分の母に感謝の気持ちが芽生えてきた。お母さんが頑張ってくれたからこそ、今の自分があるんだと感じた。貴重な体験ができてよかった。(男子)
- ★妊婦体験は、とても重くて普段ないものがあるのは、不思議だった。寝るのも起きるのも爪をきるのも大変だった。でも、これを幸せと感じるのだろう。出産間近の妊婦さんのお腹は、破裂しそなくらいパンパンだった。赤ちゃんが動くところは触れなかったけど、お腹の中に命が宿ることが不思議で神秘的だった。私も女に生まれたからには、女性にしかできない出産を経験したい。乳幼児ふれあい・妊婦体験のお母さんたちはみなさん素敵で、そんな人になりたいと思った。(女子)

部活動生支援学習会

生徒会指導部

11月15日(火)～17日(木)、体育部所属の1年生に対して、学業と部活動を両立させることを目的に「部活動生支援学習会」を実施しました。学習会には運動部に所属する25名が参加しました。多くの生徒たちが宿泊を伴う合宿をし、「英語」「数学」「国語」を中心に学習に励みました。2学期末考査に向けていい学習ができました。

【生徒感想より】

- ・今回の学習会を通して、勉強の仕方が少し分かったような気がします。これからは、家での学習時間を増やすのと、勉強の質を上げていく必要があると思いました。
- ・自分の家での勉強への取り組みが足りなかったということに改めて気付かされました。
- ・自分の苦手な教科に取り組むことができ良かったです。
- ・いつもは家でダラダラする時間がありましたが、メリハリを付けながら集中して勉強の取り組むことができました。



島P連秋季研修会

教務部

11月25日(土)、「『こころ』を育てる親のあり方」を大会テーマとして、平成29年度島原地区高等学校・特別支援学校PTA連合会秋季研修会が島原市のホテル南風楼で開催されました。

田浦裕一郎島P連会長、県生涯学習課・原洋課長のあいさつに始まり、各委員会からの報告、専門学校福岡カレッジ・オブ・ビジネスの横山正裕先生による「変化の時代 企業が求める人材とは」と題した基調講演、パネルディスカッションが行われました。

基調講演では、講師の横山先生はユーモアを交えながら具体的な面接のコツを紹介され、企業においては、様々な人とコミュニケーションを取ることができると、特に表現力が求められるというお話でした。

ご出席、ご協力いただきました保護者のみなさま、誠にありがとうございました。



パネルディスカッション



横山先生による講演